



令和8年度が始まり、1か月が経ちました。それぞれの新しい環境には慣れてきたでしょうか。以前から大泉西中学校に勤めている先生から「今年は今までに比べてすてきなあいさつがたくさん聞けるようになった」という言葉を聞きました。あいさつの大切さや必要性は校長先生からもたびたびお話がありました。改めてあいさつについて知っていてほしいことがあります。

☆ すてきなあいさつはすてきな学校を創る ☆

すてきなあいさつが交わされる学校は、すてきな人が多くいるすてきな学校になると信じています。あいさつがなぜ大切かといえば

「あいさつは人と人をつなぐコミュニケーションの第1歩」
等言われることがあります。しかし、あいさつの意義は他にもたくさんあります。
あいさつをするためには、まず

* 相手の存在を認める

あいさつをする相手がいる(来た)と気づかないとあいさつできません。

***自分のこと(その時の気持ちややっていること)より相手にあいさつすることを優先することが必要**

例えばその時の自分の気持ち(眠いな～、だるいな～)その時の自分の行動(友達と話している等)を最優先しないで、相手へのあいさつを1番に考え行動する必要があります。つまり相手の存在を認め、自分のことより相手のこと

を優先する=相手を思いやる気持ちが必要になります。
このようにあいさつをすることは「思いやりの心」が育つだけでなく、

* 自分の心も前向きになる

という効果もあるとされています。

あいさつが盛んな学校では、そこにいる人たちの心に思いやりが芽生え、前向きな心になってくる。そんな人たちがたくさんいる学校はすてきな学校になると思いませんか。そして「すてきな」あいさつが出来るとさらにすてきな学校になっていくと思います。すてきなあいさつとはどのようなあいさつでしょうか?一言でいうと「思わずあいさつを返したくなるようなあいさつ」だと思います。お店などでいくら丁寧なあいさつをされても返さなければと思いあいさつし返すことは多くないと思います。それは形だけで心が込められていないからではないでしょうか。すてきなあいさつをするためのポイントを上げます。

★ 心と視線を相手に向けて

★ 笑顔で、相手に聞こえる声で

★ 心をこめてさわやかに



これからもすてきなあいさつで大泉西中学校をすてきな学校にしていきたいと思います。

(文責 齋藤 元)